



センターの催し

- ◎子育て健康相談 by 保健師
〜確かめて ホツと安心 健やか子育て〜
とき 6月5日(木)・7月3日(木)
午前10時30分〜11時30分
※申し込みの必要はありません。
- ◎春・夏・秋・冬 季節の歌遊びを楽しまう!
とき 6月18日(水)
午前10時45分〜11時30分
※申し込みの必要はありません。
- ◎ママのミニ学習会「からだ編」
〜子どもの病気〜
とき 6月4日(水)
午後1時45分〜3時45分
講師 吉原重美氏
申込期限 6月3日(火)
◎シングルパパの子育て相談
とき 6月7日(土)
午後1時30分〜3時30分
申込期限 6月6日(金)
◎ママのお楽しみタイム
「つくってみよう! たのしい小物」
by オピニオンリーダー
とき 6月19日(木)
午前10時30分〜11時30分
申込期限 6月18日(水)
※お子さんを無料でお預かりします。
◎パパもいっしょでうれしいな!
「七夕かざり製作」
とき 7月6日(日)
午前10時15分〜11時45分
定員 親子20組(先着順)
申込期間 6月16日(月)〜30日(月)
開催場所 すべて子育て支援センター
申込先及びくわしくは 地域子育て支援センター
☎ 22299

すこやかコラム

スキンシップ

口の中をきれいにすることは、とても気持ちのいいものです。お子さんに歯磨きを教えるときは、その感覚を教えるところから始まります。嫌がるお子さんも、歯磨きができたから褒めてあげましょう。そして「気持ちいいね」と、やさしく話してあげてください。心地良さを覚えたいお子さんは、自然と歯磨きの習慣が身につきます。

虫歯の原因は、正しく歯磨きをしていないからだけではなく、生活リズム、特に食生活と大きく関係します。頻繁な間食などを続けると、口の中は酸性の状態に傾き、虫歯になるリスクが高くなります。間食はなるべく控え、規則正しい食生活を心がけましょう。

また、しっかりと飲んで食べることが、お子さんの成長にとって非常に大切です。かむことによって出る唾液には、消化を助けるだけでなく、感染から体を守り、脳の働きを活発にして、心を落ち着かせる働きがあります。そしてお子さんには、磨き残したよれをきれいにし、あげて「仕上げ磨き」が大切です。特に乳歯から永久歯に生え替わる時期までは、大人によるサポートが必要ですが、虫歯にさせないようにと頑張り過ぎてストレスをためないでください。親子で長く続けていけるように、肩の力を抜いてゆっくりと、たっぶりスキンシップを楽しんで「仕上げ磨き」をしましょう。

原稿：市保健師

地域子育て支援センター

ママのミニ学習会に行ってきました

4月15日(火)「ママのミニ学習会 乳児期ってどんな時期?」が開催されました。この学習会は「からだ編」「こころ編」「ことば編」「親業訓練」に分かれています。今回は「こころ編」の講座が行われ、県教育研究所の丸山隆先生(まるやま たかし)のユーモアを交えた講話を、お母さんたちは時には笑いながらも真剣に聞き入っていました。参加後のアンケートでは、「スキンシップの大切さを再確認しました」「あらためて愛情を持って子育てをしたいと思いました」などの感想が寄せられていました。



だよい図書館

ホームページアドレス
<http://lib.nikkocity.jp/>
携帯電話用アドレス
<http://opac.city.nikko.lg.jp/>



お問い合わせは

- ◆今市図書館 ☎22-6216
開館時間：午前9時〜午後7時
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
- ◆日光図書館 ☎53-3700
開館時間：午前9時30分〜午後6時
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
- ◆藤原図書館 ☎76-1203
開館時間：午前9時30分〜午後6時
休館日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

6月の催し

- ▼今市図書館
◎読書会(二水会)
とき 6月11日(水)
午後1時30分〜3時
◎おはなし会
とき 6月14日・28日(土)
午後2時〜3時
内容 絵本の読み聞かせや紙芝居、折り紙など
- ▼日光図書館
◎読書会(いずみの会)
とき 6月17日(火)
午前10時〜正午
◎おはなし会
とき 毎週土曜日
午後2時〜3時
内容 絵本の読み聞かせや手遊びなど
◎赤ちゃんのためのおはなし会

- とき 6月5日・19日(木)
午前10時30分〜11時
内容 絵本の読み聞かせや手遊びなど
- ▼藤原図書館
◎おはなし会
とき 6月4日(水)
午前10時30分〜11時30分
6月28日(土)
午後1時30分〜2時30分
内容 絵本の読み聞かせや人形劇など



今市図書館のおはなし会の様子

江戸の名探偵紳士録

日本で生まれた捕物帳小説。これまでにたくさんヒーローが誕生しました。今回は、そんな中から五大捕物帳と呼ばれるシリーズに登場する江戸の名探偵たちを紹介しましょう。

神田明神下の長屋に住んでいる。捕り物の時に、腹巻から銭を取り出して、犯人の顔に投げつけることで有名(野村胡堂作「銭形平次捕物控」)。

『人形佐七』
神田お玉ヶ池の岡つ引き。色白で役者のようにいい男だったので、若い娘から人形佐七と呼ばれていました(横溝正史作「人形佐七捕物帳」)。

『むつり右門』
町奉行所の同心。柔術の使い手。とても黙り屋だったので、むつり右門と呼ばれました。おしゃべり伝六を子分にして数々の事件を解決しました(佐々木味津三作「右門捕物帖」)。

図書館コラム

本を楽しもう!



江戸で知らないといわれる名親分。江戸黒門町に住んでいたことから、黒門町伝七親分と呼ばれていました。紫房の十手で悪人を捕えさせた(陣出達朗作「伝七捕物帳」)。

『銭形平次』
若くて美男の岡つ引き。

決しました(佐々木味津三作「右門捕物帖」)。
五人とも何度も映像化されているので、皆さんよくご存じでしょう。
あなたも、たまには映像だけではなく、原作を読んで、江戸情緒に浸ってみてはいかがですか。